

AIDS UPDATE

No.40 2003.7.2

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線5581 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

平成14年度研究報告 献血者・妊婦に関する研究

■ 厚労省エイズ対策事業「HIV感染症の社会疫学的研究班」(主任研究者:木原正博京都大教授)から、清水 勝(杏林大学医学部・臨床検査医学)の分担報告を紹介します。報告書のコピーが欲しい方は、エイズ医療対策室までどうぞ。

● 献血のHIV陽性者は10万人対1.42

献血者の陽性率は目赤血液センター(BC)での検査開始以来上昇の一途をたどり、2002年には578万人中82人がHIV検査陽性で、10万人対1.42となりました。地域別陽性率では、首都圏(都、神奈川、埼玉、千葉の各県)が最も高いことにかわりありませんが、2000年をピークに減少してきているのに、大阪ブロックでは急激な増加をみえています。献血頻度別では初回者は10万人対2.77、複数回者は1.24と推定され、初回者の陽性率が2倍以上高いが、陽性者の献血歴が数十回あるいは百回以上という例もありますので、repeat donorが必ずしも安全とは言い切れません。

● 検査目的の献血は13%

拠点病院を受診したHIV陽性者のうち献血で判明した人は調査開始以来188人(男性158人、女性7人、不明3人)報告され、その推定感染経路は男性では66%がMSM、女性では78%が特定の異性間性的接触であり、献血の動機が検査目的と判明しているのは13%でした。

● 梅毒の検査結果を知りたくない献血者

献血時の感染症マーカー陽性の通知を不要と申告した献血者率はBCにより異なり、北海道BCでは0.56%、東京都BCでは16%でした。梅毒検査は他のマーカーと異なり、通知不要/配達不能(返送)率の高いBCが多く、特に東京都BCでは31%/10%もあり、検査陽性者の60%にしか通知できませんでした。2002年における4BCのHIV検査陽性者で連絡がつかない例はなかったことから、直接関連づけられるものではないが、放置し得ない問題と思われました。

● 身分証明を行って献血をする?

献血時の氏名・住所の誤記入あるいは虚偽申告を防ぐために、身分証明などの本人確認の提示を求めることの是非等について、献血者を対象にアンケート調査を行いました。提示について問題はない人が81%、提示を求められても献血に協力する人が92%でした。さらに、HIV検査結果を通知すべきという人が47%と最も多かったが、保健所でのエイズ検査を知っている人は60%に過ぎませんでした。

● 妊婦のHIV陽性率 拠点病院では10万対16.1

妊婦の検査後の分娩数については、昨年同様に、HIV検査状況と陽性者数の調査を行いました。日本産婦人科医会定点モニターの661施設からの検査数170,494中での日本人は6人で3.67/10万人であり、HIV拠点病院247施設からの検査数82,500中での日本人は13人で16.1/10万人でした。感染妊婦は拠点病院に集まる傾向があるが、2001年の陽性率と比較すると同等ないし上昇する傾向がうかがえました。

☆ シリーズ ☆
ナース河部のざっくばらん(No.1)
エイズ医療対策室 河部康子

こんにちは。初めまして。私は、この4月からエイズ医療対策室に看護師として入りました河部と申します。対策室長の高田先生から何か書いて欲しいと言われて、ここに載った次第です。仕事をしていく中で勉強したことや感じたこと、そして普段思っていることなどざっくばらんに書いていこうと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



4月から今日までの3ヶ月間は本当にあっという間でした。入って間もない頃ほとんかく院内が分りにくいくつも天井の目印を見ながら歩いていたように思います。「あ！間違えた」と思いながら、さまよいつつようやく行きたい場所に辿り着く・・・ということの繰り返しでした。最近はやや近道も分るようになりましたが、年配の患者様はさぞかし苦勞するだろうなというのが最初の実感でした。

私の仕事の中で最も重要なものがHIV診療における看護師の役割です。といっても、私自身HIVについて知識や経験があるわけでもなく、ほとんど白紙の状態です。就職しました。HIVについてはB型肝炎などに比べ感染力が弱いということは理解していましたが、詳しいデータなどは知りませんでした。針刺し事故で比べてみると感染率はHIV0.2～0.5%、HCV1～6%、HBV22～31%とされています。値を前にするとこんなに違うのかと改めて感じます。無知ということが一番

怖い事だなあと最近痛切に感じています。正しい知識を持って正しい対応をすることができるのに、知識がなければ不安で周りに流される事になります。自戒の意味でも、今後気をつけていかなければいけないなと思っています。1987年頃から始まったと言われるいわゆるエイズパニックと言われるものも歪んだ情報だけが先走った結果だったのだなと感じています。【続く】

日時：2003年7月6日(日)13:00-16:00

広島エイズダイアル講演会

場所：広島市留学生会館(南区西荒神町1-1)

内容：「HIV感染者の現状」HIV感染者

「HIV感染症の最新情報」高田 昇

参加費：無料

問合せ：広島エイズダイアル (082-541-0812)

e-mail：had-0812@ddt.or.jp

URL：http://www.ddt.or.jp/~had-0812

<ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。 [TAKATA, OE]
takata@aims-chushi.or.jp

